

報道関係各位

2024年08月08日
中村キース・ヘリング美術館

1980年代のニューヨークを生きたキース・ヘリングの作品を、 写真や資料とともに紐解くコレクション展「キース・ヘリン グ：NYダウタウン・ルネサンス」 展開催

1986年にニューヨークの病院の小児病棟に描かれた壁画を日本初公開

中村キース・ヘリング美術館(山梨県・小淵沢)は、 ニューヨークで長らく保管され 34 年間公開されるこ
となかった、日本初公開となる壁画「マウント・サイナイ病院のための壁画」を含む「キース・ヘリン
グ：NYダウタウン・ルネサンス」展（期間:2023年6月3日[土]から2024年5月6日[月]）を開催しま
す。



本展では、ヘリングが活動した1980年代ニューヨークにおける「アンダーグラウンド・カルチャー」「
ホモエロティシズムと HIV・エイズ」「社会に生きるアート」「ニューヨークから世界へ」の4つの視点
から、当館収蔵のキース・ヘリングコレクションを紐解きます。

1970~80年代にヘリングが生きたニューヨークは、パンク・ロックやヒップホップファッションなど新
しいカルチャーが注目され、成功を目指す人々が世界中から集まる可能性に満ちた街である一方、ドラ
ッグや犯罪が蔓延する危険な状態でもあり、それらが危ういバランスで成り立っているスリリングな街
でした。

80年代にそのような社会の中で生まれたヘリングの作品は、命に関わる感染症との共生、児童福祉教育
や人権問題をはじめとする持続可能な社会実現に向けた課題など、今日を生きる私たちにも強烈なイン
パクトを与えます。ヘリングが残したメッセージを、同時代を生きた写真家たちの記録写真や多くの資
料が並ぶ展覧会を通して発信します。

• 展覧会の2つの見どころ

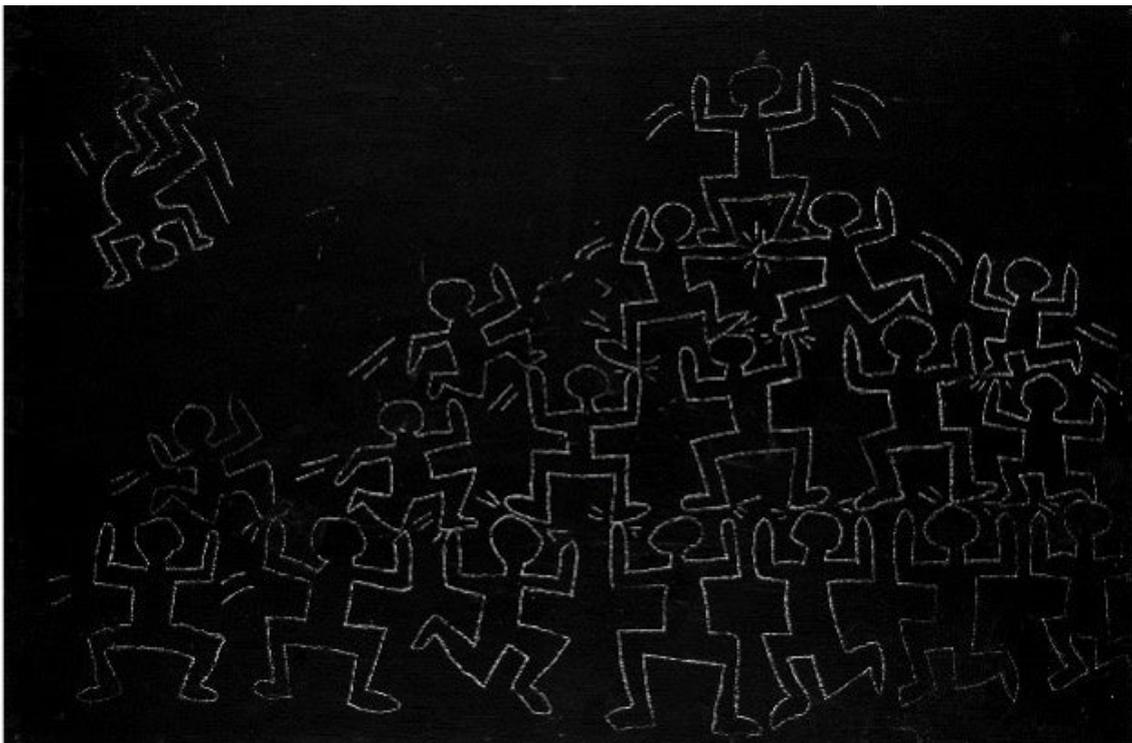
1. 日本初公開「マウント・サイナイ病院のための壁画」(1986年)



マウント・サイナイ病院のための壁画、1986年 シミックホールディングス株式会社所蔵

「マウント・サイナイ病院のための壁画」(1986年)は、ニューヨークの小児病棟で患者である子どもたちのために制作された幅5mを越す大作です。描かれた病院の立て直しに伴い、倉庫で保存されていた壁画を日本では初公開、世界的にも34年ぶりに公開します。なお、本作品は、ヘリングが子どもたちの未来のためにどのように貢献してきたのかを表す重要な作品として世界的にも注目されています。本展第3章「社会に生きるアート」では、本作品の初公開を軸に、ヘリングが重視した子どもたちとのプロジェクト「City Kids」にまつわる版画や「ポップショップ」の活動について紹介します。

2. 文化と人種が交差する80年代ニューヨークのアンダーグラウンド文化とキース・ヘリングの作品を体感



無題、1982年

本展第1章「アンダーグラウンド・カルチャー」では、ヘリングが注目されるきっかけとなった地下鉄構内での「サブウェイ・ドロ잉」のドキュメント写真や平面作品を中心に、当時のニューヨークアンダーグラウンドカルチャーの盛り上がりを紹介します。

ヘリングが通い詰めたクラブ、パラダイス・ガレージにて写真家ティナ・ポールが撮影した写真や、磯崎新が改修を担当し、ヘリングが壁画を描いたクラブ「ザ・パラディウム」を篠山紀信が撮影した写真など、時代に交錯したカルチャーと人種を超えた熱気が感じられる資料などを公開します。



ザ・パラディウムに設置されたキース・ヘリングの壁画 photo by ©Kishin Shinoyama

● 関連イベント情報

本展覧会に関連し、6・8・10・12・2月に美術館およびオンライン上にて、映画上映会、対談イベント等、多様なイベントを開催します。イベントの詳細は随時公開予定ですので、美術館ウェブサイトや公式インスタグラムをご確認ください。

開催日／開催予定日程	イベント内容	開催場所
6月24日(土)、6月25日(日)	クイア・フィルム上映会	中村キース・ヘリング美術館
	6月は「プライド月間」。LGBTQ+の人々の権利や認識の向上、自分らしく生きることを応援するため、クイア・フィルムの上映会を開催します。「クイア」はLGBTQ+をはじめ、ジェンダーにとらわれない人々を包括する、大きな傘のような言葉。ドキュメンタリーやアニメーションを含む多彩な表現による6本の作品を特設会場および閉館後、ナイトミュージアムにて上映します。 協力：ノーマルスクリーン、カナダ大使館	
8月上旬～下旬	フードトラックがキース・ヘリング美術館の森にやってくる！	中村キース・ヘリング美術館の森
	ニューヨークをキーワードに、キース・ヘリングの活動や作品を紐解く本展を楽しんだ後は、涼やかな森で楽しい休息を。8月の夏休み期間限定で、キース・ヘリング美術館の森にニューヨークのストリートではお馴染みの、路上の屋台「フードトラック」がやってきます。	
10月上旬	小児医療とキース・ヘリング オンライントークライブ	オンライン
	第3章「社会に生きるアート」では「マウント・サイナイ病院のための壁画」の展示を機にヘリングが医療のために多くの作品を描き、アート力で子どもたちの未来に希望を残してきたことを紹介しています。これを機に、現在、病氣とともに生きるこどもたちの現在の課題にとりくむゲストをお呼びし、お話しを伺うオンライントークライブを行います。	
12月1日(金)～12月26日(火)	国際エイズデー特別企画 2023	中村キース・ヘリング美術館およびオンライン
	当館では、ヘリングが生前 HIV・エイズへの正しい理解のために行ってきた活動の意志を継ぎ、毎年12月は1月を通してさまざまなイベントを行っています。2023年も第2章「ホモエロティシズムと HIV・エイズ」での展示に加え、12月限定で無料スペースにおいて普段見られない資料の特別展示、映画上映などを行います。	
2024年2月24日(土)	ナイトミュージアム：IWAKAN トークイベント	中村キース・ヘリング美術館およびオンライン
	当館では、アートを通して多くのアクティビズムを展開したキース・ヘリングの意志を引き継ぎ、ゲイ、トランスジェンダーやノンバイナリーなどLGBTQ+コミュニティの支援を行っています。2023年冬、「ジェンダーレストイレ」への改装を機に、世の中の当たり前“違和感”を問いかけるマガジン『IWAKAN』の編集部をゲストにお呼びし、トイレや店舗体験などの日常生活で抱く小さな違和感から、多彩な生き方のありようを話し合うトークセッションを行います。	

● 開催概要

展覧会名	キース・ヘリング：NYダウタウン・ルネサンス
会期	2023年6月3日(土) - 2024年5月6日(月)
開館時間	9:00 - 17:00 (最終入館16:30)

休館日	定期休館日なし ※展示替え・メンテナンス等のため臨時休館する場合があります。
観覧料	大人:1,500円／16歳以上の学生:800円／障がい者手帳をお持ちの方:600円 15歳以下:無料 ※各種割引の適用には身分証明書のご提示が必要です。
観覧券購入場所	美術館のみで販売
公式サイト	https://www.nakamura-haring.com/
同時開催	「ハウス・オブ・フィールド」展（自由の展示室） ※コレクション展観覧券で観覧できます。
主催	中村キース・ヘリング美術館
後援	米国大使館、山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会
協力	キース・ヘリング財団、シミックホールディングス株式会社

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000042.000022359.html>

中村キース・ヘリング美術館のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrhp/company_id/22359

プレスツアーのご案内

本展開催前日（6月2日[金]）に、プレスツアーを開催します。新宿駅よりバスで小淵沢までご案内し、「キース・ヘリング：NYダウントOWN・ルネサンス」と、同時開催の、世界的な衣裳デザイナーおよびスタイリスト、パトリア・フィールドのアートコレクションを紹介する展覧会「ハウス・オブ・フィールド」を、メディアの皆様にご紹介いたします。担当キュレーターによる展覧会説明のほか、関連イベントについてもイベント担当よりご紹介いたします。

ぜひ、ご参加賜りますよう、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

[日程（予定）]

09:00-12:00 新宿駅集合、バス移動（移動中にご昼食）

12:00-14:30 内覧会（2つの展覧会を担当キュレーターがご案内します。）

14:30-15:45 パトリア・フィールドよりビデオメッセージ上映

関連イベントご案内

16:00 内覧会終了（バスで新宿駅までお送りします。）

18:00 新宿駅到着

※詳細なスケジュールは、改めてご案内します。

※ご参加を希望される方は、<https://forms.gle/X5r4WrvnMedXpihG8> より必要事項を

ご記入いただくか、本出欠確認票を pr_nkhc@keith.jp までお送りください。

※お手数ですが【5月19日(金)12:00】までにご返信をいただけますと幸いです。

<本件に関する報道関係お問合せ先>

PR担当：八木、木虎、（島田）

連絡先：pr_nkhc@keith.jp